

学びを支える取組

① 谷トーーク！

話し合いのスキルを高めるための常時活動として、本年度は、毎週月・水の朝活動の15分間、全校生で話し合い活動に取り組んでいる。毎回、活動の始めに、どの話型や見方・考え方を使って話し合うとよいかを放送し、児童が、めあてをもって取り組むことができるようにしている。2項対立のテーマ（AorB）や資料を読んで自分の立場を明らかにしてから話し合うなど、内容を段階的にレベルアップしている。特に、話し合いのテーマは、児童の興味関心が高まるようなものや、話し合いが意欲的に行えるのを意識的に選定し、児童が楽しみながらスキルを高めていくことができるようにしている。



【児童が活発に話し合う様子】

【「谷トーーク！」ワークシート】

② ホッとすまいるプロジェクト

授業の学びを家庭で実践したり、家庭科に繋がる素地を作ったりすることを目的に、全校で「ホッとすまいるプロジェクト」を実施している。衣・食・住のジャンルを問わず、家庭でできるお手伝いを実践することで、児童は家族の一員としての役割を自覚したり、役に立った喜びを経験したりすることができている。ワークシートは、廊下に掲示し、児童が自由に見合い、他の児童のお手伝いの様子を学び合うことができるようにしている。また、保護者からも「すまいるプロジェクトをきっかけに、自分にできるお手伝いは何だろうと考え、行動する姿が見られ、たいへん頼もしく感じた。」といった声が寄せられるなど、家庭啓発に繋がっている。

【家庭へのお願い】

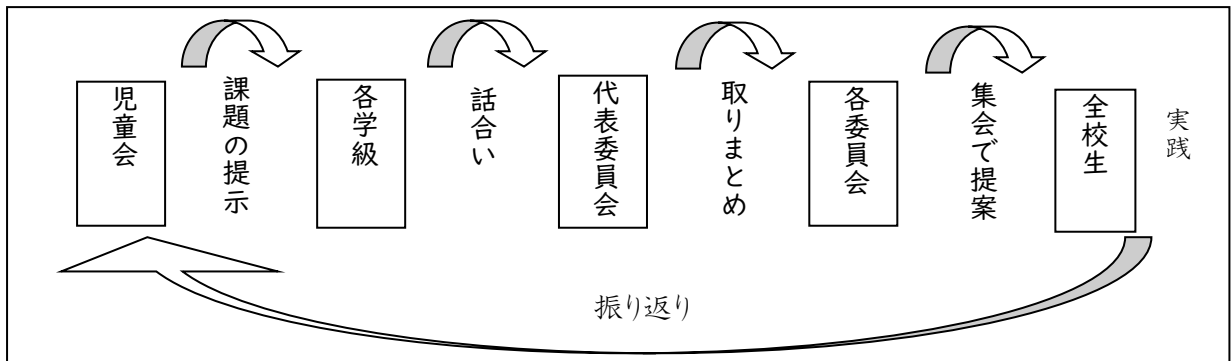
【児童が実践したワークシート】



【ワークシートの掲示】

③ 谷っ子のリーダーズ

児童の主体性を育み、「自治的活動」を推進するために、本校では以下に記すような問題を解決するプロセスを大切にしている。



【自治的活動を促すためのサイクル】

各委員会や各学級から挙げられた議題を代表委員会で取りまとめ、そこで決められた取り組みをそれぞれの委員会の児童が実践し、児童が自分たちの力で学校を運営しているという実感をもたせる。そうすることで、自己有用感や「自分たちの学校をよりよくしていこう」とする自己指導能力の高まりが期待される。例えば、「掃除中についておしゃべりをしてしまう。」という課題から、環境美化委員会が「だまチャレ（黙って掃除チャレンジ）」を企画・運営し、全校生が静かに掃除に取り組むことができるようになった。「校内を隅々まで美しくしたい。」と、家庭科で学習した掃除のコツを使って、掃除の仕方を動画撮影し、全校集会で呼びかける活動にも取り組んだ。また、雨の日にも楽しみながら過ごすことができるよう、児童会が中心となり、なりきりダンス大会を企画するなど、「自分たちの力で学校をよりよくしよう」という意識が高まっている。



【だまチャレ掃除チャレンジ】



【なりきりダンス大会】

④ 地域連携

本校では、一ノ谷教育支援会と連携し、ミシンボランティアの方に来ていただいている。また、家庭科の授業以外にも、1年生の下校指導・昔遊び・絵本の読み聞かせなど、地域との連携も深く続いている。また、4・5・6年生で行っているクラブ活動では、地域の方に調理実習の指導もしていただいております、さまざまな学年で地域の方とかかわりながら、教育活動を行っている。



【ミシンボランティアによる制作指導】



【手作りクラブでの調理実習指導】